

歯学部運動会を終えて

運動会実行委員長 歯学部歯学科5年 荒木望吏

「望吏さん今日無理じゃね？やだよおれ。」

と、当日の朝5時半部活の後輩からの電話です。私はちょうどグラウンドに着いた時で、言われた通りグラウンドのコンディションは最悪でした。前日に引いたグラウンドの線は無になっており、一緒にいたグラウンド係のチーフの表情も無になっていたのは印象的でした。しかし、当日まで5年生の各チーフを中心にみんな準備に要した時間は多く、先生方も参加していただけるのでぜひ開催しよう、いやなんといってもオールで夜通し遊んでいた部活の後輩を来させてよりしんどい思いをさせたいと強く感じ、運動会の実施に至りました。その後天気は回復して夏の陽ざしが射し、残った水たまりもドンキホーテで買った全然吸えない安いスポンジ布6枚だけで処理し、無事に開会式を定刻通り行うことができました。

開会式ではサッカー一部の1、2年生が「サイレントマジョリティー」を完全コピーしてくれ大いに盛り上がりました。特にすね毛まで剃ってくれていたところに一番感動しました。最近の部活でソックスを履くときに、微妙に生えたすね毛で足がチクチクするそうです。本当にすごくよかったです。

今まで誰にも言わずに秘密にしていた個人的に掲げていた今年の運動会のコンセプトは「HAPPY」でした。みなさん感じてくれましたか？わかんないですよ開会式の時に言えばよかったです。運動会初めての1年生も、今年から旭町キャンパスで「周りに何も無いけどこれ大学生活なの？」と驚きがちな2年生も、旭町キャンパス2年目で「え、こんなところに自転車屋さんあるんかい」と意外な発見をしがちな3年生も、…4年生も、実習とCBTに追われ「もうキャパオーバーです」と嘆きがちな5年生も、「…もうよくな？」と思い少し熱が冷めたのでしょうか数名だけ来ていただいた6年生も、全員が運動会を

全力で楽しんで夜の飲み会を終えた後の家のベッドで「ああ～わたしHAPPY」と言い残して寝て欲しいという想いです。具体的には以前の反省点を生かして、競技内容、競技ルール、当日のタイムスケジュール、最後の後片付けなど細かい部分を修正しました。

競技については、玉入れでは競技中に玉当て合戦してすごいジャレていらっしやった6年生（ハルキさんとナベさん）や、男女2人1組の大玉ころがしでは普段いきている女子が男子に置いてきぼりにされている姿や、14人15人脚では「え、おれこいつと足結んで肩組むんかい」と下を向いている男子や、20人リレーでは1位の5年生がこけ…これは言わない約束ですが、学校で見せないような白熱した様子をたくさん見ることができました。個人的には大縄飛びで、5年生が始めの2回でそこそこの記録を出して余裕こいてその後の残り1分間記録更新に挑戦せず突っ立ったままで、そのまま優勝できたのがいい思い出です。あれで負けていたらださすぎてみんなで休学届け書いていたと思います。みなさんどの競技においても全力で挑んで、それぞれ思い出深い競技もあったのではないのでしょうか。競技結果だけでなく、競技している仲間を全力で応援する、頑張った仲間を労うといったことがよりクラスの団結力を高めることに繋がったのだと思います。



クラスの団結力が高まるということは、なにごとにもみんなで協力できるようになる、一緒に試験勉強を頑張ることができるようになる、個人だけでなくクラスの成績が上がる、みんなで国家試験に受かりやすくなるということです。そうです、運動会は立派な国家試験対策なのです。このことを肝に銘じて家で一人勉強するのではなく、来年も再来年も運動会を休まず手を抜かず全力で取り組んでいきましょう。最後になりましたが、今年の運動会を無事開催できたのも先生方、生徒のみなさんの多大な協力のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

